

使用テキスト

配本年度

『特別支援教育の基礎』杉野学・長沼俊夫・徳永亜紀雄編著(大学図書出版)

2019 年度～

科目概要

我が国の聴覚障害教育の制度・指導内容の実際について学び、聴覚障害者である児童生徒への指導場面に対応できる基礎的な指導法や指導上の配慮を理解する。

学習上の目標

■ 科目の到達目標

1. 聴覚障害者である児童生徒への指導法の知識が身に付く。
2. 聴覚障害者である児童生徒への教科指導における配慮事項の理解が深まる。
3. 聴覚障害者である児童生徒への自立活動の知識が身に付く。

■ 科目の学習要点事項

1. 聴覚障害の原因、出現率、聴力レベルの違いについて
2. 聴覚障害教育の対象
3. 早期からの教育的対応と保護者への支援
4. 聴覚障害のある児童生徒への指導内容
5. 聴覚障害の児童生徒への情報保障
6. 聴覚障害の特性を踏まえた教科指導
7. 聴覚障害教育における自立活動

参考文献

- ①『特別支援学校学習指導要領と解説 自立活動編』文部科学省
- ②『改訂版 聴覚障害教育の基本と実際』中野善達・根本匡文(田研出版)
- ③『特別支援教育の基礎・基本』新訂版 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所(ジアース教育新社)

評価基準

■ レポート評価

テキストの内容を的確に把握し、関係箇所の記述を自己の言葉で整理して説明ができており、なおかつレポート用紙の約8割程度以上を使用して、基本事項のまとめができていれば、合格とする。

■ 科目終了試験評価

テキストや参考文献の内容を踏まえた上で、聴覚障害児への基本的な指導方法についてバランスよく理解ができていれば合格(60点以上)とする。ただし、試験解答においては、自己流の解釈や特定の主張しか記載していない場合は、不合格とする。